

～日本の生物防除を考える。露地IPMの未来～

第1回 日本生物防除協議会シンポジウム

開催のお知らせ

閉鎖環境で温湿度の管理が可能な施設栽培に比べ、自然状態に近い屋外圃場では、天敵製剤や微生物製剤の利用が難しいと言われています。しかし、日進月歩の技術開発が、この困難を克服しつつあります。

本シンポジウムでは、「露地の野菜栽培」にスポットを当て、生物防除資材の実施例や成功例を第一線でご活躍の方々から紹介して頂きます。また、国内外の生物防除の動向を知ることにより、日本の生物防除の未来を考えます。

日本生物防除協議会は、日本微生物防除剤協議会（2006年～）および日本バイオリジカルコントロール協議会（1997年～）の合併により、2016年4月に発足いたしました。

目 時

2017年**2月28日（火）** 11:00～17:30

場 所

江戸東京博物館 ホール

東京都墨田区横網 1-4-1

参加費

3,000円（講演要旨代として）

定 員

350名

お申込
期間

2017年**1月23日（月）**～2017年**2月24日（金）**

※定員となり次第、締切とさせていただきます。

お申込みいただいても参加できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

お申込
方法

日本生物防除協議会ホームページ <http://www.biocontrol.jp/>

E-mail symposium@e-hokuto.co.jp

FAX **03-3643-6538**

主催 **日本生物防除協議会**

後援 ■ 農林水産省 ■ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター
■ 日本植物病理学会 ■ 日本応用動物昆虫学会 ■ 日本農薬学会 ■ 一般社団法人日本植物防疫協会
■ 公益財団法人日本植物調節剤研究協会 ■ 一般社団法人農林水産航空協会
■ 一般社団法人全国農業改良普及支援協会 ■ 農薬工業会 ■ 全国農業協同組合連合会 ■ 全国農薬協同組合

参加申込みに
関して
のお問い合わせ

シンポジウム事務局

ホクト株式会社（担当：永井）

TEL:03-3643-0633

（受付業務時間／平日9～17時）

～日本の生物防除を考える。露地 IPM の未来～

第1回

日本生物防除協議会シンポジウム

シンポジウム プログラム

※敬称略

11:00 ▶ 開 会

11:05 ▶ (基調講演)「農林水産省における IPM 推進に向けた取組状況」

農林水産省消費・安全局植物防疫課 藤井達也

11:35 ▶ (特別講演)「海外における天敵利用の現状と将来展望」

近畿大学農学部 矢野栄二

*** 休憩 12:15～13:10 ***

13:10 ▶ (IPM 事例報告)

「JA 大樹町でのバイオキーパーの取組み」

JA 大樹町農産部農産販売課 小野拓哉

13:45 ▶ 「長野県におけるコナガのジアミド系殺虫剤抵抗性の実態と対策」

長野県野菜花き試験場環境部 北林 聡

14:20 ▶ 「奄美諸島におけるゴマダラカミキリ類の生態とバイオリサによる防除」

国立大学法人鹿児島大学農学部 津田勝男

*** 休憩 14:55～15:05 ***

15:05 ▶ 「群馬県の露地ナスにおける天敵利用防除体系の現状と展望」

群馬県館林地区農業指導センター生産指導係 蓼沼 優

15:40 ▶ 「鹿児島県における天敵利用の現状と今後の展望」

鹿児島県農業開発総合センター 柿元一樹

16:15 ▶ 「高知県におけるIPM技術と今後の展開について」

高知県農業振興部環境農業推進課専門技術員 中石一英

16:50 ▶ 「交信かく乱剤(性フェロモン剤)を用いたコナガ防除の現地試験事例」

長野県野菜花き試験場 佐久支場 山戸 潤

17:25 ▶ 講演終了挨拶

17:30 ▶ 閉 会

18:00 ▶ 懇親会 (懇親会費 別途 5,000 円)

会場案内

江戸東京博物館 ホール

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1
TEL: 03-3626-9974 FAX: 03-3626-9950

交通案内

●アクセス

JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分 東口下車 徒歩7分
都営地下鉄大江戸線 両国駅(江戸東京博物館前)
A3・A4出口 徒歩1分
都バス錦27・両28・門33系統、
墨田区内循環バス「すみだ百景すみまろくん・すみりんちゃん(南部ルート)」
「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車 徒歩3分

